

令和元年度 第3回 備前市公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和2年3月25日（水） 15時00分～16時30分

開催場所：備前市役所新庁舎3階 大会議室

出席委員：田原 隆雄【備前市長】

今脇 誠司【備前市市民生活部長】

久保 聡志【西日本旅客鉄道（株）】

川平 章【備前市自治会連絡協議会】

金本 伸一【備前市自治会連絡協議会】

中磯 潤一【備前市自治会連絡協議会】

三宅 陽【備前市老人クラブ連合会】

松本 和好【備前市老人クラブ連合会】

杉山 玄意【備前市老人クラブ連合会】

大東 正虎【岡山商科大学経営学部経営学科 教授】

石田 剛史【中国運輸局岡山運輸支局】

清水 淳夫【備前警察署】

宮本 智子【岡山県県民生活交通課】

青砥 良定【瀬戸内市総合政策部企画振興課】

新田 憲一【和気町総務部危機管理室くらし安全係】

出席15名、委任状提出7名

事務局：市民生活部市民協働課

杉田（課長）、森本（係長）、千田

1. 開会

2. 会長あいさつ（及び委員紹介）

会 長：

平素から市政ならびに備前市内の交通行政につきまして、関心いただき、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。また、本日は新型コロナウイルスの影響もある中ご出席いただきありがとうございます。本日は備前市の望ましい公共交通の姿を明らかにしたマスタープランという形で公共交通網形成計画の案をお手元に配布させていただいています。今後市民の皆様が利用しやすい市営バスになるよう、それぞれの立場での忌憚のないご意見をいただき、より良いものに上げていきたいと思っていますのでご協力よろしくをお願いいたします。

事務局：

続きまして、この度の人事異動により新たにご出席いただいた委員の紹介をいたします。備前警察署交通課清水淳夫様です。清水様は前任の古家野様の後任となります。恐れ入りますが、一言自己紹介をお願いいたします。

清水委員：

3月23日付で備前警察署交通課長を命ぜられて、水島警察署からやって参りました清水淳夫と申します。備前市に住むこと自体初めてですが、周りの方から備前市は良いまちだと言われて顔を出ささせていただきました。4月には交通安全運動等が始まって、皆さんにご迷惑並びにご協力をお願いすると思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局：

ありがとうございました。最後に私は、事務局として本日の進行役を務める市民協働課長の杉田でございます。よろしくお願いいたします。

なお、本日の出席委員は14名で、表決委任状7通、要綱第5条の規定により過半数を超えておりますので、この会議が成立していることを報告いたします。

3. 協議事項

(1) 備前市地域公共交通網形成計画（案）について

－事務局からの説明－

会 長：目次の1頁から29頁までは現状についての説明だと思しますので、まずそれについて一括して質問をいただき、あとは項目ごとに進めていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。計画の概要から現状についてご質問等ありましたらお願いします。

委 員：スクールバスと民間バスが重複している区間ですが、生徒の人数的にはどのような割合になっていますか。各地区の生徒数が把握できていないのでわかりませんが、市営バスとスクールバスが統合できるなら、利用者の少ない地域のバスの運行も減り効率化が図られると思います。何を重要視するのかという議論もありますが、経費の面も考えていかなければいけません。

また、鶴海地区の取組の様に、公共交通の圏域外の人をグリーンスローモビリティでカバーしていくような取組も今後必要になってくると思います。

事務局：スクールバスについては、吉永方面で3台運行しており、小学校2台、中学校1台で運行しています。バスといえども利用する児童生徒の人数によって乗用車タイプ、ワンボックスタイプ、マイクロバスという形の運行になっており、中学校は部活動対応のバスと部活動をしなない生徒のバスの2便で運行しているので、一般の利用者を乗り合わせて行く場合、車両をどうするか、どの時間に合わせて運行するかという部分で課題が出てくるかと思えます。吉永小学校はマイクロバスで運行しており23人が利用しています。また、和意谷地区は乗用車タイプで運行しており、吉永中学校は14人乗りのワンボックスタイプで運行しているのが現状です。

委 員：23頁の図表でバス停400m圏域内人口割合という表記があるが、これは正しい表現でしょうか。図表に出てくる人口と居住者、圏外と圏域外など表現を統一した方が良いと思います。

事務局：圏域外で表現を統一させていただきます。

会 長：備前市における公共交通の課題について何かご意見等ありますか。
無いようですので、基本方針と目標について何か意見等ありましたらよろしくお願ひします。

委 員：令和2年から新しく総合計画を作っていくという話がありましたが、公共施設や商業施設が点在するようになると交通網を作っていく上で利便性を重視するのか、収益性を重視するのかという議論が生まれるかと思えます。その中で、施設をあ

る程度集約するというこも、市の政策の都市計画の案として取り組んでいかな
いといけないと思っています。地域で身近に生活のための施設があると利便性が
良いように感じますが、交通網として考えると、利用者数が少ない便も増えてし
ます懸念もありますので、都市整備の計画と併せて考えていくことが必要だと思
います。

会 長：36 頁に交通関連の整備計画にも触れており、整合性を図りながら交通の計画も進
めていくことになると思います。

委 員：鉄道との接続や利便性の向上について、日中は通院や買い物でバスを利用されて
いる方もおられると思いますが、鉄道を利用した後に帰ってくる便がないも課題
だと思います。1 番望ましいのは赤穂線の日生・寒河までの夜遅い便があることで
す。そうすれば日生・寒河地域の活性化につながると思います。

事務局：41 頁に備前市営バスの見直しで、運行ダイヤについてはバスとバス、バスと鉄道
との接続を軸に設定しということで今後備前市営バスの見直しも含めて検討して
いきたいと考えています。

委 員：掲げて終わるのではなく、実行するためにどのように活動していくのが大事だ
と思います。具体的にどうするのか、文章だけでとどまってしまうのなら意味が
ありません。これからどのような活動するかということまで、ご返答いただけれ
ばと思います。本日私たち 3 名は自治会代表者として参加していますので、自治
会としてもお手伝いできることがあればさせていただきます。

事務局：具体的な部分で見直しということで事業 1 としてバスとバス、バスと鉄道の接続
について記載していますが、もう少し具体的にした方が良いというご指摘だと思
いますので、接続時間の短縮や接続の確保などを計画に追記したいと考えていま
す。

委 員：バスと鉄道の接続調整についてはこのような大きな計画にしなくても、10 月の改
定時にすぐできるのではないのでしょうか。以前から利便性について公共交通会議
で話題になっており、連絡網が悪いと言われてきたと思います。名古屋から来た
学識者の講義でバスと鉄道の連携が非常に悪く、公共交通の発展はいかに利便性
を良くするかが議題だと聞きました。鉄道との連絡ができていたら利便性も問題
にならないと思うので、2~3 年も時間をかける必要はないと思います。

事務局：令和元年 10 月の改正については、鉄道からバスの接続について確認して設定して

います。一方で、全ての利用実態を把握し、全ての便を接続されることは難しいため、現在は利用が見込まれる便を絞って調整をしています。

会 長：本日は交通網形成計画案の審議なので、ダイヤ改正があったら速やかに対応できる必要があるのではないかとこの提案だと思います。公共交通の果たすべき役割の所にダイヤ改正については速やかに対応するという文言を入れるなど、年度毎の交通会議の時に速やかに対応することを考えてはという受け取り方をすべきではないでしょうか。社会情勢の変化によって速やかに対応するという精神を反映すべきであるという提案だと思います。

委 員：バスの台数が少ないことや、効率的に回ると鉄道に間に合わないなど資源の制約がありますが、そのあたりを速やかに検討してもらいたいです。

委 員：バスも遅れることもあるので、身近な問題ですが鉄道に合わせた運行をしていかないといけません。

委 員：岡山から邑久・長船までは30分単位で鉄道が運行しているが、そこから先は1時間に1本しか便がない状況で、どのような形でバス路線と連携が取れるか考える必要があります。愛知県比佐郡の事例を参考として話しますが、平成の合併時に5つの村が1つの町に変わった際、15,000人の人口が現在は50,000人を超えています。人口増のポイントとして、交通の利便性の良さと、大型の商業施設ができたことが挙げられます。いかに人口減を少なくするかということも、公共交通の問題と関係するため、参考にしながら取り組んでいただきたいと思います。

会 長：市内のことだけではなく、広域的な視点も必要ではないかという提案だと思います。

事務局：36頁に目指すべき公共交通の将来像の図を載せていますが、広域的な幹線に当たるとしますので、民間路線バスや鉄道だけではなく、近隣の市町村の市営バス等との連携についても記載したいと思います。

会 長：目標を実現するための事業について意見等ありましたらお願いします。特に無いようですので、実施スケジュールについて意見等ありましたらお願いします。また、全体を通して何か意見等ありましたらお願いします。

委 員：45頁に交通結節点の整備予定地として備前片上駅をあげておりますが、昨年度末に駅舎西側の土地を買い取り、市営バス、スクールバスの駐車とする予定です。

また、これに合わせて駅の中にバスの事務所を設置することになりました。ここを交通結節点とし、市営バスや宇野バス、鉄道とのハブステーションにしていくことを計画しています。計画書の中では具体的な事が書けないので抽象的に書いていますが、令和 2 年度中に設計をして、後半では工事を進めていきたいと思っています。それを踏まえて、鉄道との接続や、バスによる東西地域の循環、南北地域の交通や広域でのバスとの連携について検討を進めていきます。

委員：日生の路線は便数が多く、地域の要望を取り入れているのだと推察していますが、幹線道路だけではなく地域内に入っていく細やかな運行も考えてみたらどうでしょうか。タクシーとの競合等、課題はありますが利便性は向上すると思います。また、西鶴山は公共交通空白地域の割合が最も高いというデータがありますが、今バスが運行していない地域で運行すれば解決するのではないのでしょうか。事務局から要望があったかと聞きましたが、このようなデータがあるなら要望が出る前に解決策を提示することが必要ではないでしょうか。

事務局：備前市営バスの見直しというところも含めて検討させていただきます。

委員：伊部地区といえば交通の利便性は良いと認識されていると思いますが、体育館といった公共施設には赤穂線を使って地域外から訪れる人がおり、久々井に行く路線バスが無いので、徒歩で移動している方もいます。交通結節点ができるのであれば循環型路線の運行範囲に伊部地域も入れていただきたいです。

事務局：市営バスの見直しというところで合わせて検討させていただきます。

委員：伊部駅は鉄道との関係で良い駅舎もありますが、一方で備前片上駅がみずぼらしく見えるので、備前片上駅を備前の顔としてもう少しきちんと整備した方が良いと思います。待合室やバスの停留所も整備されるので、観光客が安心して待てるような環境にしてもらいたいです。

事務局：現時点では備前片上駅の内部改装を検討しており、外観までは手が回りにくいと思いますが、今後検討させていただきます。

委員：閑谷学校へ行くバスが備前片上駅からも出るようになっているので、観光の事を考えるのであれば、行先がはっきりわかるようにするべきです。観光客にとってはわかりにくい部分だと思います。

事務局：バスの路線図については路線看板等を作成したいと思います。

事務局：令和 2 年度には駅の前から駐車場までの設計をしますので、ご意見を踏まえてわかりやすいものにしたいと思います。

会 長：これは令和 2 年から 5 年間の計画になり、個別のスケジュールについては年度毎に皆さまにお諮りすることもあるかと思えます。計画案をご了解いただけますでしょうか。

<承認>

4. その他

委 員：会議の案内にできるだけ公共交通を利用して来て下さいという文言がありましたが、いつの間にか無くなっています。難しいとは思いますが、バスを少しでも使ってもらえるよう案内をした方が良くと思います。

会 長：公共交通の利用を促進する運動はこの会議だけではなく必要かもしれません。他に無ければ本日の議事は終わらせていただきます。
閉会にあたりまして、備前市公共交通会議副会長の大東正虎先生よりご講評をお願いいたします。

副会長：交通結節点を設けるということで、乗り換える度にお金がかかるのは非常に負担です。例えば、乗り換え券を活用して、目的地に着くまでは必要最低限の料金しかかからないというような工夫がされると、利用者の増加につながるのではないのでしょうか。また、公共交通を利用して会議に行くことが、公共交通について考える良い機会になると良いと思います。その場合、待ち時間が発生するので会議の時間等を調整していただけるとありがたいです。

会 長：それでは以上をもちまして、令和元年度第 3 回備前市公共交通会議を終了いたします。本日はありがとうございました。

以上